

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 11 月 4 日 (2005.11.4)

【公開番号】特開 2004-80558 (P2004-80558A)
 【公開日】平成 16 年 3 月 11 日 (2004.3.11)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-010
 【出願番号】特願 2002-240053 (P2002-240053)
 【国際特許分類第 7 版】

H 0 4 N 5/225

H 0 4 N 5/235

H 0 4 N 5/907

// H 0 4 N 101:00

【F I】

H 0 4 N 5/225 A

H 0 4 N 5/225 B

H 0 4 N 5/235

H 0 4 N 5/907 B

H 0 4 N 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 8 月 12 日 (2005.8.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

撮影条件を段階的に変更して複数の画像を撮影する段階露光撮影モードを有する静止画撮像装置において、

撮影された画像の輝度ヒストグラムを表示するための表示手段と、

前記段階露光撮影モードにて撮影された場合には、前記表示手段に前記段階露光撮影モードにて撮影された複数の画像の輝度ヒストグラムをそれぞれ重畳して表示する表示制御手段とを有することを特徴とする静止画撮像装置。

【請求項 2】

前記段階露光撮影モードにて撮影された複数の画像を表示する画像表示手段を有し、前記表示制御手段は前記画像表示手段によって表示されている画像に対応する輝度ヒストグラムをハイライト表示することを特徴とする請求項 1 に記載の静止画撮像装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

また、この種の静止画撮影装置に用いられている撮像素子は従来用いられてきた銀塩フィルムと比べてラチチュードが狭いため段階的に露光量を変化させて複数枚の画像を撮影する段階露光モードが有効に活用されている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 7

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 7 】

【課題を解決するための手段】

撮影条件を段階的に変更して複数の画像を撮影する段階露光撮影モードを有する静止画撮像装置において、撮影された画像の輝度ヒストグラムを表示するための表示手段と、前記段階露光撮影モードにて撮影された場合には、前記表示手段に前記段階露光撮影モードにて撮影された複数の画像の輝度ヒストグラムをそれぞれ重畳して表示する表示制御手段とを有することを特徴としている。